



連携事例1

H30.2.1 更新

文化遺産を活かした 「館山まるごと博物館」のまちづくり

～ 知れば知るほど面白くなる 安房国再発見！ ～



赤山地下壕跡

NPO

企業

行政

教育

地縁

■事業運営団体

NPO法人安房文化遺産フォーラム

■協働パートナー

☆青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会
 ☆布良崎神社 ☆安房自然村 ☆大巖院
 ☆福原有信を語り継ぐ会 ☆年金者組合安房支部
 ☆戦争遺跡保存全国ネットワーク ☆千葉城郭研究会
 ☆文化財保存全国協議会 ☆全国里見一族交流会
 ☆NPO法人全国生涯学習まちづくり協会
 ☆千葉県歴史教育者協議会
 ☆一般財団法人館山市観光協会
 ☆婦人保護施設かにた婦人の村
 ☆館山市 ☆館山市教育委員会 他

■事業の手法

☆委託・企画立案・共催・事業協力

■事業費

☆600万円

事業概要

有形無形の文化遺産を保存・活用し、地域全体をまるごと「博物館」に見立て、学習・研究・展示・保全を通じて地域の活性化を図る市民活動です。

先人たちが築いてきた知恵や歴史文化から学べる「平和・交流・共生」の精神をまちづくりの理念として、「戦争遺跡と平和の文化」「八犬伝のふるさと里見のまち」「安房ゆかりの画家文人」など、多様なジャンルを切り口に、スタディツアーガイドや国内外交流、調査研究、ヘリテージまちづくり講座などを実施しています。

協働までの経緯

高校教師であったNPO代表の愛沢氏は、安房地域に多く残る戦争遺跡に注目し、平和教育の授業実践を始めたのを契機として、公民館講座や「戦後50年」の資料展などが行われ、保存へ市民の関心が高まりました。千葉県歴史教育者協議会や戦争遺跡保存全国ネットワークを通じて調査や情報交換を進めるなか、全国各地からスタディツアーが来訪するようになり、市民ガイドが誕生しました。

その一方で、館山市では戦跡調査を経て館山海軍航空隊赤山地下壕跡を公開し、館山市指定史跡としました。

この間、『南総里見八犬伝』の舞台である里見氏稲村城跡を通る市道建設が計画されたため、愛沢氏は戦跡と城跡の両方を文化財として保存しようと広く呼びかけて、千葉城郭研究会や文化財保存全国協議会や全国里見一族交流会などとの連携につなげました。

全国的に展開された保存運動は17年を経て、里見氏稲村城跡は南房総市の岡本城跡とともに国指定史跡となりました。

2つの市民運動がきっかけとなって、文化遺産を活かした

まちづくりを目ざすNPO法人が設立されました。これを機に、行政や館山市観光協会などと連携したちばDC(ディステーションキャンペーン)や食文化研究会「おらがごっつお」、かにた婦人の村との連携による平和・人権研修、ハンゲル「四面石塔」を有する大巖院や歴史教育者協議会等と連携した国際交流など、多分野における本格的な協働が生まれました。

また国や財団などの補助事業として、NPO法人全国生涯学習まちづくり協会等と連携した「元気なまちづくり市民講座」では様々な地域課題を見つめ直して話し合いを重ね、「ヘリテージまちづくり講座」では多様な文化遺産の保存と活用について総合的な人材養成を図っています。

主な事業内容(年間スケジュール等)

- ①スタディツアー・文化財ガイド(随時)
- ②ヘリテージまちづくり講座(随時)

※上記の他、随時、調査研究・書籍等発行、国内外との交流を行っています。

大蔵院の四面石塔



主な協働パートナーとの役割分担

- 【NPO】安房文化遺産フォーラム
：企画立案、事業運営、コーディネート、人材育成、調査研究 等
- 【観光協会】広報・スタディツアーの協力
- 【行政】文化財保護に関する業務・環境整備・広報 等
- ※その他協力団体
学校・大学・調査機関：教育支援、調査研究

協働事業によって生まれた成果

- 様々な団体が連携することで、それぞれの知識・専門性などの資源を活用することができました。
- 多くの団体とのつながりが、また新たな連携先を生み、それが新しい視点や手法へつながりました。
- 埋もれていた地域の近現代史が明らかになることで、住民の誇りと連帯感が育まれるとともに、住民が地域課題を認識し、自ら解決しようという意識が向上し、地域の活性化につながりました。
- 地域資源に磨きがかかり、平和学習の地としての認知度も高まりました。そのため市外から多目的のスタディツアーやまちづくり研修・視察が増えました。
- 全国組織との連携により、広域まるごと博物館のまちづくりネットワークが広がっています。

コラボのコツ!!

- ★地域住民を主役にした事業の発案
- ★事業の理念を共有する
- ★地域内外の緩やかなネットワークを育む
- ★それぞれの主体の特性を活かした協働

地域資源を活かした住民主体の事業を展開するため、企画にあたっては地域住民の発案を重視しました。また、先人の知恵や歴史から学べる“平和・交流・共生”の精神と理念を共有し、協働の信頼を培うとともに、多くの人に関われる緩やかなネットワークを育みながら協働を進めました。事業を進めるにあたっては、それぞれの団体の特性を活かし、尊重することが、よいパートナーシップにつながると考えています。

今後力を入れていきたいこと

- 調査研究・企画・運営・コーディネーターとしての役割を事業化し、収入の基盤を創出することに力を注ぎます。
- 文化遺産を活かした「館山まるごと博物館」を充実させるため、市や様々な団体との連携をさらに強化するとともに、国や県への協働を働きかけていきます。

運営団体マネジメント&活動実績

*NPO法人安房文化遺産フォーラム <http://bunka-isan.awa.jp/>

【活動開始年】平成8年(法人化：平成16年5月26日) 【代表者】愛沢伸雄 【住所】〒294-0036 館山市館山1016-1 【TEL】0470- 22-8271
【事業担当者】池田恵美子 【e-mail】awabunka@awa.or.jp 【正(活動)会員数】団体11 個人 123 賛助会員143 (H28.7月現在)

■ 広報ツール

WEB メルマガ 広誌 ブログ FB tw

■ 協働事業の実績

企業 行政 教育 地域 NPO

■ これまでに支援を受けた補助金等

※下記の外、千葉県・館山市等から補助金多数

- 【補助金】①館山信用金庫：“たてしん”ふるさと応援ファンド(地域貢献・応援寄付基金)(H26)
②文化庁：文化遺産を活かした地域活性化事業(H25・26)
③文化庁：文化遺産を活かした観光振興と地域活性化事業(H23・24)
- 【委 託】①花海街道「e-旅」研究会：e-地域資源活用事業に係る地域資源アドバイザー業務委託(H21)
②鳥取県倉吉市：里見氏最新調査報告会開催に係る講師派遣業務委託(H21)

■ 表彰歴・マスコミ掲載歴等

- ①南房観光連盟：観光功労表彰(H28)
 - ②早稲田学院わせがく高校：感謝状(H28)
 - ③館山市長・教育長感謝状、館山市観光協会長感謝状(H26)
 - ④千葉県：ちばコラボ大賞(H26)
 - ⑤千葉県文化財保護協会：文化財保護功労者(H24)
 - ⑥ちばこーぷ：地域かがやき賞(平和部門)(H24)
 - ⑦日本都市計画家協会：まちづくり教育部門特別賞(H22)
 - ⑧文化財保存全国協議会：第10回和島誠一賞(H21)
 - ⑨千葉県文化の日功労賞～地域観光振興部門(H20)
 - ⑩内閣官房長官賞～あしたのまち・くらしづくり活動部門(H18)
- ※それぞれ新聞掲載あり。その他新聞等で事業紹介記事多数

▼ 収入の内訳(平成28年度)

